



デミー博士 (出水 享)

1979 生 / 福岡県出身 / 土木学者・YouTuber / 長崎大学 / 工学博士・防災士 / 軍艦島の研究者 / 国土交通大臣表彰 / メディア出演 1000 件以上



長崎大水害から40年、  
諫早大水害から65年

水害で運命がかわった2つの眼鏡橋の謎  
～ YouTube 連動企画～

ラブラドボクー！こんにちは！土木学者のデミー博士です。2022年度もデミー博士のラブラド土木の連載がスタートしました。一発目の記事のテーマは「水害」。なぜこのテーマを選んだかというと2022年7月23日は長崎大水害から40年、また2022年7月25日は諫早大水害から65年と災害の節目の年だからです。ただ、私は水害を経験していないため教科書的な記述しかできませんので、違う切り口で水害に迫りたいと思います。私がフォーカスするのは眼鏡橋。長崎県には眼鏡橋が2つあります。長崎眼鏡橋（1634年）と諫早眼鏡橋（1839年）。2つの眼鏡橋は長崎大水害、諫早大水害で運命が大きくかわりました。ここでは、その物語を紹介します。

長崎眼鏡橋の4つの大穴の謎

長崎眼鏡橋は長崎市中心部を流れる中島川に架かる日本最古の本格的アーチ石橋です。現在、中島川には11の石橋が架かっていますが、長崎眼鏡橋だけが2連のアーチ（それ以外は1連）になっています。どうして長崎眼鏡橋だけが2連のアーチ（それ以外は1連）の謎に迫ります。元々、中島川には木橋が架かっていましたが、大雨の度に流されました。そこで流されない頑丈な橋を造ったのが長崎眼鏡橋になります。ただ、2連のアーチは川の中に設置した橋脚により川幅が狭くなり洪水が起きやすくなります。このことは橋を造った石工（いしく）も分かっていたはずですが、2連にしなければならなかったのは、1連のアーチ石橋を造るのが技術的に難しかったためです。長崎眼鏡橋の建設後は、その経験を元に中島川には1連のアーチ石橋が造られていきました。最初の2つの大穴の謎は、石工の不安の表れだったのです。写真を見てください。長崎眼鏡橋はさんで左右に大穴があります。これが残り2つの大穴の謎になります。長崎大水害では中島川が氾濫して大きな被害を受けました。洪水を防ぐためには川を深く、堤防を高く、川幅を拡げるなどの土木工事をし、川に流れる水量を増やす必要があります。川幅を拡げると橋は使えなくなり移設または撤去する必要があります。そのため長崎眼鏡橋では上流の水を下流に流すバイパス工を行いました。この大穴はバイパスの出入り口だったんです。残り2つの大穴の謎は、市民を洪水から守り、眼鏡橋を移設から守った土木工事でし



諫早眼鏡橋の2つの謎

諫早眼鏡橋の長さは約50mと長崎眼鏡橋（22m）の2倍以上あります。諫早眼鏡橋の1つのアーチに長崎眼鏡橋がスッポリ入るイメージです。また、諫早眼鏡橋は長崎眼鏡橋と違ってスレンダーな形をしています。そのため橋と水面が創り出す眼鏡の形は、長崎は丸に対して諫早は楕円に近い形です。現在、諫早眼鏡橋は諫早公園内の池に架かっています。建設当時は、現在の位置から約500m離れた本明川に架かっていたのです。どうして現在には池に架かっているのか？これが1つ目の謎になります。諫早眼鏡橋は長崎眼鏡橋を参考に造られました。しかし、頑丈に造りすぎたが故に悲劇が起きました。諫早大水害で橋が川の水をダムのように堰き止めてしまい、それが原因で洪水が起きて大きな被害が起きました。その後の水害対策で川幅を拡げることにになり、それに伴い橋を解体する予定でしたが、当時の市長らの働きかけで保存することになりました。そして、1960年に現在の位置に移設されました。1つ目の謎は、頑丈すぎた石橋の悲劇でした。諫早眼鏡橋から道路を挟んで向かいの高城公園内の池にミニ諫早眼鏡橋があります。いったい、このミニ眼鏡橋は何のために造られたのか、2つ目の謎になります。おそらくミニメントだと思ってる人がほとんどだと思いますが、実はミニ眼鏡橋には知られざる物語があります。諫早眼鏡橋の移設の話はしましたが、石橋の移設は当時全国的に前例がなく初めての工事となりました。そのため諫早眼鏡橋の約1/5スケールの石橋を再現すること



移設の練習を行いました。その練習用の石橋がミニ眼鏡橋になります。ミニ眼鏡橋のおかげで移設が成功しました。2つ目の謎は移設成功の謎でした。いかがでしたでしょうか？災害により運命がかわった2つの眼鏡橋ですが、「橋を残したい」という思いが伝わってきますよね。先人が残してくれた大切な2つの眼鏡橋を今を生きる私達がしっかり守っていきたくですね。次回から眼鏡橋を見るときは、今回のエピソードを思い出してください。眼鏡橋の新しい魅力を発見できると思います。